

第6号様式 (第16条関係)

該当するもの以外を二重取り消し線

一般粉じん発生施設設置 (使用、変更) 届出書

提出日
(設置、変更：設置前)
(使用：施設となった日から30日以内)

平成29年 1月 10日

〇〇保健所長 殿

提出先の保健所長

郵便番号 (〇〇〇-〇〇〇〇)
〇〇町〇〇1-2-34
届出者 〇〇工業 株式会社
代表取締役 沖繩 太郎
098-〇〇〇-〇〇〇〇



沖縄県生活環境保全条例第19条第1項 (第19条第3項、20条第1項) の規定により、一般粉じん発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇工業 株式会社 〇〇事業場	※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地	〇〇町〇〇1-2-34	※ 受理年月日	年 月 日
一般粉じん発生施設の種類	1. 堆積場	※ 施設番号	<p>沖縄県生活環境保全条例施行規則別表第2に記載されている項番号及び施設名を記入する</p>
△一般粉じん発生施設の構造並びに使用及び管理の方法	別紙1から別紙4までのとおり。	※ 審査結果	<p>当該施設に該当する別紙を添付する</p>
		※ 備考	

- 備考 1 一般粉じん発生施設の種類の中には、沖縄県生活環境保全条例施行規則別表第2に掲げる項番号及び施設名 (施設の名称) を記載すること。
- 2 △印の項の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の項には、記載しないこと。
- 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
- 6 氏名 (法人にあってはその代表者の氏名) を記載し、押印することに代えて、本人 (法人にあってはその代表者) が署名することができる。

項	施設の種類	施設の規模
1	堆積場	面積が300平方メートル以上1,000平方メートル未満であること。
2	ベルトコンベア及びバケットコンベア (鉱物等)	ベルトの幅が60センチメートル以上75センチメートル未満であるか、又はバケットの内容積が0.01立方メートル以上0.03立方メートル未満であること。
3	ベルトコンベア及びバケットコンベア (おがくず等)	ベルト幅が60センチメートル以上であるか、又はバケットの内容積が0.01立方メートル以上であること。
4	破碎機及び摩砕機 (鉱物等)	原動機の定格出力が7.5キロワット以上75キロワット未満であること。
5	破碎機及び摩砕機 (木材等)	原動機の定格出力が7.5キロワット以上であること。
6	ふるい (鉱物等)	原動機の定格出力が7.5キロワット以上15キロワット未満であること。
7	ふるい (木材等)	
8	粉碎施設及びふるい	原動機の定格出力が7.5キロワット以上であること。

別紙 1

敷地内における建築物及び施設の配置

- 備考
- 1 建築物の用途及び施設の番号を記入すること。
 - 2 他に適当な図面があれば、それによることができる。

事業場での施設番号
なければ、通し番号

一般粉じん発生施設（堆積場）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		堆積場NO.1	堆積場 NO.2
名称及び型式			
設置年月日		平成29年 4月 1日	平成29年 4月 1日
着手予定年月日		平成29年 3月 20日	平成29年 3月 20日
使用開始予定年月日		平成29年 4月 1日	平成29年 4月 1日
規模	面積 (㎡)	500	550
	堆積能力 (t)	400	350
堆積物の種類、性状及び通常の間延べ 堆積量 (t/年)		海砂 5000t/年	混合砂 5500t/年
使用 及び 管理 の 方法	堆積場がその中に設置されている 建築物の概要		
	散 水	装置の種類・型式・基数	スプリンクラー3基 (SP-500)
		装置の能力 (m ³ /h)	300
		散水の方法	常時散水
	防じんカバーの設置状況		ブルーシート被覆
	薬 液 散 布	薬液の種類・名称	
		装置の種類・型式・基数	
		装置の能力 (m ³ /h)	
		散布の方法	
	締 固 め	装置の種類・型式	
方 法			
そ の 他	方 法		

該当する方法を記入

- 備考
- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の項に、使用届出の場合には設置年月日の項に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の項に、それぞれ記載すること。
 - 2 堆積物の種類、性状及び通常の間延べ堆積量の項には比重、粒度、水分値の概数及び通常の間延べ堆積量について記載すること。
 - 3 散水の方法、薬液散布の方法、締固めの方法及びその他の方法の項には、実施の量（たとえば散水の場合は、水量L/t）、実施頻度等を記載すること。
 - 4 その他の項には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
 - 5 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの飛散防止のための装置の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

一般粉じん発生施設（コンベア）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		コンベア No1	事業場での施設番号 なければ、通し番号	
名称及び型式		CON-963		
設置年月日		平成 29 年 4 月 1 日	年 月 日	
着手予定年月日		平成 29 年 3 月 20 日	年 月 日	
使用開始予定年月日		平成 29 年 4 月 1 日	年 月 日	
規模	ベルト幅 (cm) 又はバケット内容積 (m ³)	60cm		
	単基の長さ (m) × 基数	70m×1基		
	ベルト又はバケットの速度 (m/分)	100		
	運搬能力 (t/h)	250		
運搬物の種類、性状及び通常の月間運搬量 (t/h)		アスファルト殻 100t		
使用及び管理の方法	コンベアがその中に設置されている建築物の概要		資料 1 施設内に設置 加工場	
	集じん機	集じん機の種類・型式		
		集じん機効率 (%)		
		送風機の原動機出力 (KW)		
	散水	装置の種類・型式		該当する方 法を記入
		装置の能力 (m ³ /h)		
		運搬量当たり散水量 (L/t)		
	防じんカバーの設置状況			
	その他	方法		

- 備考
- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の項に、使用届出の場合には、設置年月日の項に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の項に、それぞれ記載すること。
 - 2 その他の項には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
 - 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は飛散防止のための装置（フードを含む。）の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙 4

一般粉じん発生施設（破碎機、摩砕機、ふるい）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		破碎機No. 1		
名称及び型式		インパクトクラッシャー (TOH-3 100/110)	事業場での施設番号 なければ、通し番号	
設置年月日		平成 29 年 4 月 1 日	年 月 日	
着手予定年月日		平成 29 年 3 月 20 日	年 月 日	
使用開始予定年月日		平成 29 年 4 月 1 日	年 月 日	
規模	原動機の定格出力 (KW)	60		
	処理能力 (t / h)	35		
処理対象物の種類及び通常の間処理量 (通常) (t / 月)		アスファルト殻 100t		
使用及び管理の方法	破碎機、摩砕機又はふるいがある中に設置されている建築物の概要		資料 1 施設内に設置 加工場	
	集じん機	集じん機の種類・型式		
		集じん機効率 (%)		
		送風機の原動機出力 (KW)		
	散水	装置の種類・型式		該当する方 法を記入
		装置の能力 (m ³ / h)		
		処理量当たり散水量 (L / t)		
	防じんカバーの設置状況			
その他	方 法			

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の項に、使用届出の場合には設置年月日の項に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の項に、それぞれ記載すること。
- 2 その他の項は、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は飛散防止のための装置（フードを含む。）の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。